

タラートの 説明書

たんぽぽ幼稚園



学びがいっぱい!
子どもの市場

遊び×仕事
みんなが笑うと自分も嬉しい!!

〔日時〕

2025年2月8日（土）午前中

～タラートってどんな行事～

タラートはタイ語で「市場」という意味です。簡単に言うと、この行事は子ども達がお店を開き、ご家族の方にお客様になってもらい買い物をして頂くという行事です。子ども達は、計画、準備、販売全てを経験します。



たんぽぽ幼稚園の生活そのもの
日常生活の延長線上にある行事

～タラートの特徴～

日常の遊びや活動をより深めて

タラートは、自由遊び、クッキング、縦割り保育、制作活動等、たんぽぽ幼稚園で日頃から大切にしている活動をより深め、自由遊びで得た、発想力や友達とのコミュニケーション能力等、日常で培った成長をベースに作り上げます。

ご家族参加型

この行事の大きな特徴は、保護者の方が自由に移動し子どもの成長や子ども達同士の関わりを見て頂くことができるという所です。子ども同士の自然なコミュニケーションや何気ない所作にきっと成長を感じて頂けると思います。保護者の皆様には子ども達の成長をたくさん見つけてほしいと思います。また、子ども達はこの行事でお客様との関わりから学び、たくさんの笑顔に触れることで自信をつけることができます。

ごっこではない本物の体験から学ぶ

おもちゃのお金ではなく、本物のお金を扱い、本当にお客さんに喜んでもらえる物を考えて販売します。「仕事って何?」「お金ってどこから来るの?」「お店ってどうやって作るの?」「お店には何が必要?」等、本当のお店を作る工程の中で様々な気づきが生まれ、そこから多くの学びに発展します。

お店は縦割りグループ

お店のメンバーの学年はバラバラです。たんぽぽ組の子ども達がそれぞれの店の店長になり、同じ店のつぼみさん、ふたばさんと話し合い、協力して進めていきます。たんぽぽ組はリーダーとしてチームをまとめ、つぼみ組は積極的に意見を出し、自発的に動き、ふたば組は自分のできることを頑張ります。

小さな縦割りグループで動くことで、年下の子は年上の子からたくさんのことを教わり、年上の子は責任感が身につきます

～タラートまでの道のり～



仕事ってなに？
お金はどこから来るの？
お父さん、お母さんの仕事は？
どんな仕事があるの？
なぜ働くの？



タラートってどんな行事？
動画を見てみよう。
楽しそう？大変そう？
みんなはやってみたい？



どんなお店にしようかな？
みんなでアイデアを出してみよう



タラートのお店を決めよう
お客さんの立場になって考えよう



タラートの名前を考えよう



自分がどの店をやりたいか
考えよう



具体的にどんな商品売るのか
お店のメンバーで話し合おう
商品以外にお店に必要な物を
考えよう



試作品を作ってテストしよう
売り方の練習をしてみよう
看板など必要なものを準備しよう



お友達がお客さんになって
お店をやってみよう
(リハーサル2回)



リハーサルの感想を伝え合おう
より良くする為の作戦をたてよう



当日の商品や準備物を完成
させよう



お客さんが来てくれるのを
楽しみにしながらお店の準備と
確認をしよう





人を笑顔にする喜びを感じてほしい
そしてたくさんの笑顔に囲まれて成長してほしい

～当日まで園が気をつけること～

運動会と同様に、日常の遊びの時間は削らずに、長期間ゆっくり活動していきます。運動会のように体の負担は少ないですが、考える機会が多い為、頭の疲労が出てくる子もいると思います。毎日準備ばかりで息をつく間もないということにならないよう、日常の活動も十分に時間を確保した上で進めていきます。

～当日の売り上げはどうなるの？～

当日の売り上げで、子ども達一人一人に園からプレゼントを購入し、それと共に少しですが現金をこちらで財布に入れてそれぞれに渡します。園では、お客様一人一人の大切なお金を頂いていることを子ども達に話します。タラートの最後の学びとして、ご家庭で持ち帰ったお金の使い道を子どもと話し合い、一緒に考えて頂き、いつかそのお金を使う経験をさせてあげてください。

～保護者の皆様をお願いしたいこと～

当日はお店の子どもと積極的にやりとりしてあげてください

この行事は当日発表するだけの行事ではなく、当日もお客様との関わりから学べる行事です。是非、お買い物際にはお勧めを聞いてみたり、お店の子ども達に声を掛けてあげてください。また、美味しかった、楽しかった等、ご感想も伝えて頂けると子ども達のやる気も上がります。当日は、皆様の笑顔と温かい言葉で子ども達の成長の後押しをして頂けると大変ありがたいです。



子ども達だけでもこんなことができる！！
「話し合い」と「協力」から生まれるの無限の可能性

～子ども達の学び～

当日までは、考える、話し合う、協力して作り上げる経験を
そして、当日はたくさんの人の笑顔に囲まれ自分も笑顔になるという経験をしてほしい
と思います。

その中で

人に喜んでもらうこと、人が笑顔になることに幸せを感じてほしい
お金をもらうこと、人に喜んでもらうことは簡単ではないということ
話し合うことで、アイデアが膨らんでいくこと
みんなの力が合わされば、本物のお店が作れるくらいの大きな力が生まれること
仕事や社会への興味を持ち、周りの人への感謝の気持ちを持ってほしい
言葉、文字、数字、絵、動き、使える手段を用いて、人に気持ちを伝えること
最後までやり切ること、そしてたくさんの「ありがとう」に囲まれ自信をつけてほしい
仲間との絆を深め、友達のことをもっと好きになってほしい
など

この活動を通して、感じること、印象に残ること、心に響くこと…それぞれの感性を刺
激し、心を動かして学べる行事を目指したいと思います。

そして、当日はたくさんの笑顔に囲まれて、子ども達の「楽しい」「嬉しい」が溢れる
一日にできればと思います。

～学年ごとのねらい～

ふたば

- ・お買い物（お客、お店）を通して、友達とコミュニケーションを取りながら遊ぶ楽しさを感じる。
- ・お店の準備で好きな作業を見つけ、楽しんで参加する。
- ・役割分担したり、みんなで決めたルールを守り活動する経験を通して、普段の園生活での友達との関わりに活かす。
- ・自分に役割があることの嬉しさを感じながら、チームの一員として参加する。



つぼみ

- ・自分の考えたこと、感じたことを言葉で表現し友達に伝える。
- ・アイデアが徐々に形になっていく楽しさや達成感を感じる。
- ・自分達が考え作った商品を買ってもらう嬉しさや満足感を感じる。
- ・話し合っ物事を決めることの重要性を知り、積極的に話し合いに参加する。



たんぽぽ

- ・店長としてリーダーシップをとりながら、自分の意見を出すだけでなく、それぞれの意見をまとめることの難しさ、団結した時の嬉しさを感じる。
- ・「どんなものが喜ばれるかな？」と買ってもらおうお客さんの気持ちを考える等、他者の立場に立ち物事を考え、自分達がすべき行動を決める経験をする。
- ・準備の中で課題や問題が発生した時に、保育者や友達と解決方法を考え、粘り強く取り組む。



～タラートの見所～

商品、掲示物、装飾

子ども達がお店に何が必要か、どんなデザインにするのか、何を書くのか？等、アイデアを出しながら協力して作り上げる「共同作品」です。当日はお買い物を楽しんで頂いたり、頑張っている子ども達の姿を見て頂くだけではなく、子ども達一人一人の個性が集まり、この年のこの店だけのオリジナルの商品、掲示物、装飾にもご注目頂ければと思います。

チームワーク、目標に向かって頑張る姿

当日子ども達が商品をお客様に届ける一連の流れはそんなに難しくは見えないかもしれませんが、しかし、年齢の違い、それぞれの個性の中で、それぞれができる役割を考え、またできないことは補い合いながら準備、当日の販売を行います。当日商品をお客様に受け渡しする一連の流れは子ども達のチームワークの結晶です。子ども達が自分達のおすすめの商品を自信を持って販売している姿、また大好きなご家族がお店に来てくれた時の笑顔にもご注目下さい。



～Q&A～

Q たくさん物を用意しないといけないので子ども達に負担があるのでは？

前述の通り、自由遊びなど大切にしている時間を削らない範囲内で準備し、子どもの精神的、体力的な負担がないように進めていきます。確かに当日に向かう過程の中で大変なこともあるでしょう。でもそれは運動会等ほかの行事でも同じです。壁があった時に友達と協力し、励まし合い乗り越えることで本当の達成感と自信が待っています。もちろん乗り越えられない壁は作らないようにしますし、乗り越えられる壁は私達が一緒に考え応援します。もしお子様の家での話などで気になることがございましたらその都度お知らせ下さい。

Q 年少さんはついていけるのでしょうか？

はい。問題ありません。学年によって、また個人の能力によってできることが違いますが、取り組む内容を個性に能力に応じて柔軟に対応できるのが自由度の高いタラートの利点ともいえます。年少さんはまず「お買い物やお店のやり取りを楽しむ」「友達と一緒に取り組む楽しさを知る」ということが目的となります。毎年、タラートの準備期間を通してお買物の流れやそこで生まれる言葉でやりとりする楽しさを知り、自由遊びでもお買い物ごっこを楽しむ子が増え、友達と役割を決めて楽しむ等、遊びの広がりが見られます。

Q 働くことやお金について理解することは幼稚園の子どもにはまだ早いのでは？

理解させることは難しいかと私も思います。しかし、本行事は働くことやお金について「理解させる」ことが目的ではありません。考える、経験することに意義があり、理解度とは関係なくその過程で気付きと学びが生まれます。(P4～子どもの学び～をご覧ください)

過去の卒園児はタラートの経験を通してご両親の仕事に関心を持つようになったり、身近な仕事に興味を持ち自分の将来やってみたい職業を考えるようになった子もいました。お金に関してもタラート後にみんなに渡すお金をつぼみの頃は好きなものを買ったけど、たんぼぼの時は好きなものを買うまで貯金する子や自分のためではなくお母さんや大切な人に何かを買うという子もいました。このように、「仕事」に触れることで生まれる学びもありますので、理解できるか否かではなく、幼児でも体験する価値は十分にあると思います。

～さいごに～

自由遊びでびっくりするようなアイデアが出てきたり、縦割り保育では優しく助け合う姿がある。クッキングでは様々な学びに目を輝かせ、遊びの中で子どもと思えないくらい素晴らしい話し合いができた。幼稚園の日常の中にはこのようなキラキラ輝く子ども達の個性と成長が溢れています。

ただ子ども達が練習した出し物を保護者の皆様に見てもらおう行事ではなく、上記のような素敵な子ども達の日常を表現できる行事はできないものか？そのような既存の行事の在り方に疑問が生まれ、子ども達の日々の生活での学びが色濃く出る行事を考えた末、2019年度にたんぼ幼稚園独自のタラートという行事が誕生しました。

この行事を始めて以来、子ども達の発想に驚かされ、各グループが一つの方向に向かい目標を達成する姿には、近くにいる私達が毎回感動させられています。そんな子ども達の成長を、保護者の皆様と共有できればと思います。当日は、子ども達が入園した時のことや去年の今頃のこと等、少し前の子ども達の様子を思い返しながら、立派に成長した子ども達の様子を見て頂けると幸いです。どんなお店になるか楽しみにしててください。

～今までのタラートの様子～



看板や装飾、必要な物はこども達で考えます



ふたばさんだってできる！



売り方の練習。試作品を飲めてラッキー



たくさんのお客さんが来るので準備は大変！



ワクワクドキドキ当日の様子。食べる店、遊ぶお店色んなお店がありますよ。